

第 52 号



2018. 1 月



発行 城里町社会福祉協議会 ☎029-288-7013 FAX 029-288-7021 ホームページ <http://www.shirosato-syakyo.com>
 編集 広報ボランティアグループ



明けましておめでとうワン！
 私は盲導犬の「カール」です。
 成年にあたる今年の抱負は、
「安全第一」でがんばるワン！

安全確認で横断中

ミカンをお買物

バスで水戸のデパートまでお出掛け

盲導犬「カール」ラブラドル・レトリバー(3歳メス)と浅見清さん(那珂西在住)

広報紙「かざぐるま」は、赤い羽根共同募金配分金で、年4回発行しています。



新年のごあいさつ

社会福祉法人 城里町社会福祉協議会
会長 上遠野 修

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年中は、城里町社会福祉協議会の活動にご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、少子高齢化と言われ続ける中、人口構成の変化や家族形態の変化による、地域基盤の希薄さが浮き彫りになっております。家族や住民相互による助け合いの仕組みを通じ、住民が自立した生活を営むことができるよう支援していくことは、社会保障制度改革の中で基本事項として掲げられています。現在の私たちの大きな福祉課題は、この助け合いの体制を早急に、適正な形で構築していくことであると思います。

そのような中、昨年より進めております、ファミリーサポートセンター事業は、

住民同士が助け合いながら、働く方の仕事と子育てを支援する目的から設立されました。住民が支えあい、未来へつながる子供たちを守っていききたいと考えております。

また、改正社会福祉法が昨年から施行され、経営組織の強化、事業運営の透明性の向上、地域における公益的な取り組みを実施する責務など、社会福祉法人を取り巻く環境が大きく変化しました。城里町社会福祉協議会は、社会福祉法人として必要な対応を実施し、地域社会へ積極的に貢献していきます。

今後、一人ひとりが住みなれた地域で、安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりに、皆様と一緒に取り組んでいく所存でありますので、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



戌年の豆知識

今年の血液型占い

A型のあなたはとても良い人間関係に恵まれるでしょう。但し、面倒見が良すぎて裏目に出てしまう事があるの、思い込みだけでの行動はしないで下さい。

O型のあなたは少し試練の年になるかもしれません。環境に変化が生じる可能性があり。但し、後半は運氣が上向きになります。

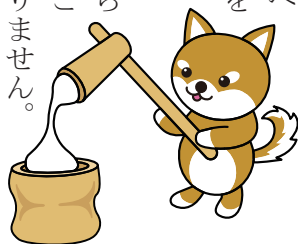
B型のあなたは経済的に恵まれ、周囲からも愛され幸運な一年が過ぎますが、ねたむ人が現れます。人に対する気配りや心遣いを忘れないようにしましょう。



AB型のあなたは前半苦労しますが、後半は運氣が上がついていき大きな成功をするでしょう。どんなに苦しくても諦めない心が嬉しい出来事を連れてきます。

戌年生まれの性格

戌年生まれの人の長所は、器用で我慢強く、人情深いところです。派手に見える外見とは異なり、性格はとても堅実で、どんなときでも冷静でいることができます。人への恩義を決して忘れず、自分から裏切ることはありません。



短所は、怒りを内側に溜め込んでしまい、精神的に苦労しやすいところです。

女性は、働き者で出世しますが、家事は苦手で掃除ができません。人への恩義を忘れない分、恨みも忘れませんので、一度苦手と感じた相手をとことん嫌います。

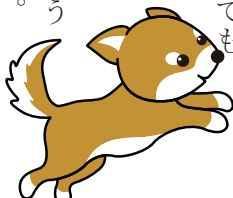


戌の故事ことわざ

【犬猫も三日飼えば恩を忘れず】犬や猫でも三日飼えば主人の恩を忘れない。まして人間が恩を知るのは当然である。



【犬も歩けば棒に当たる】何か物事をしようとする者は、それだけ何かと災難に遭うことも多いものだ。積極的に行動しようとする、わけもなく犬が棒で打たれるように、損な目にあうことが多い。また、たとえ才能や運がなくても、何かやっていくうちには思いもよらず幸運にあうこともある。



【犬も食わぬ】食べられるものなら何でも食べるはずの犬すら見向きもしないという意味から、非常に嫌がられること。誰からも相手にされないことのたとえ。

第13回 城里町表彰式典

城里町社会福祉大会

昨年11月30日（木）コミュニティセンター城里において、町内の自治功労者、社会福祉関係者の参加のもと城里町表彰式典並びに城里町社会福祉大会が開催されました。上遠野修町長より式辞、並びにこれまで多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった方々に表彰状の授与が行われ、来賓祝辞、閉式の辞で式典は終了しました。

今回受賞された方の氏名、団体は次のとおりです。おめでとうございます。なお、順不同にて敬称は略させていただきます。

城里町長表彰受賞者

◆自治功労表彰

内野信彌、阿久津眞之、大久保秀徳

◆自治表彰

阿久津精一、加倉井幹由、小林孝志

◆一般表彰(表彰状)

三村亮一、卜部 壽、皆川洋一、高野定義、杉山希良、三村一、加藤木昭博
阿久津春雄、清水良一、興野恵子、大越正子、片根公子、羽部輝子、綿引幸年
園部良夫、山形秀子、飯村文子、勝村好子、入野きみ子、添田規矩、加藤木京子
廣木幸江、仲田政男、佐藤のり子、車田綾子、佐竹信義、柏宣彦、大畠宏美
富永美子、藺部早苗、綿引孝雄、島 洋子、安西東作

◆一般表彰(感謝状)

(故)片根邦、本間昭人、大高雅男、加倉井一史、小滝京子、所佳代子、杉山勝見
加藤忠道、吉田孝生、茨城北部読売会水勝支部、株式会社 常陽銀行
株式会社 筑波銀行、株式会社 イトウ、株式会社 高揚、鶏足山環境保全グループ
オバタ総業株式会社

城里町社会福祉協議会会長表彰受賞者

◆民生委員表彰

海野恵美子、森島珠江、和田雅治

◆社会福祉協議会役員表彰

細谷光徳

◆ボランティア表彰

つくしの会、職秋会、飯村和代、仲田悦子、阿久津勝代、阿久津紘、卜部壽、岩下恵子
阿良山静江、小松光子、山崎和子、宇野紀子、小林恵子、吉田恵美子、木村美知子
鯉渚里子、大和田萬里、大畠幸子、山形秀子、森島孝子、小坪近知、柳橋秀子、関廣子
櫻井末子、田口ふくゑ

◆心配ごと相談員

富永幸男、盛田守、住谷里子

◆ボランティア感謝状

入野きみ子、枝不美、吉田房枝、中山くに、大久保桃代

◆福祉団体役員感謝状

富永信一、小野瀬廣元、久保田誠、興野一秀、羽部亨、岡崎貞夫、木原俊英、岸野教譽
海老根進、園部知江子、平賀幸子

◆社会福祉協議会役員感謝状

園部良夫、阿久津春雄、大越正子、加藤木正道、添田規矩、卜部徳也、興野一秀
卜部壽、綿引孝雄、川又雅子、飯村文子、加藤木京子、仲田政男、小滝京子、大越猛
平賀幸子、篠田多介志、(故)片根邦、今瀬満、加藤忠道

◆シルバー人材センター役員感謝状

磯部昇、飯村光、茂木忠勝、園部廣、大崎てる、加藤木正道、阿久津紘、大畠庄

◆善意銀行

小貫修一、山崎秀雄、皆川泉、横倉芳郎、仲田昭子、(故)大坪たま、富永トシイ、城里町くらしの会
常北女性会、大山寺檀信徒ゴルフ会、コカ・コーリーストジャパン株式会社常陸大宮支店
水戸ヤクルト販売株式会社、城里町文化協会、城北ライオンズクラブ
井上ケイハウオリフラスタジオ石川洋子教室、JA水戸女性部常北支部、錫高野かかし祭り実行委員会
増井一区夏祭り実行委員会、与三郎庵、ブリアンスダンスクラブ
城里町シルバーリハビリ体操指導士会、水戸農業協同組合JA祭典水戸、磯野若竹会、磯野たけのこ会

茨城県知事表彰受賞者

杉山榮子、桐原静、酒井文子、栗原美子、柏和子、大越フミ、柳橋正子、檜山道子、島のり子、海野恵美子
浅見和子、木村豊子、大曾根玲子、大高克美、杉山宗市

茨城県社会福祉協議会会長表彰受賞者

大越フミ、秋山礼子、蓮田雅子、瀬谷豊彦、阿久津理子、三村明美、寺門淳子、富田幸雄、塚田喜代美
阿久津幸子、卜部和子、櫻井和子、飯村美智子

茨城県共同募金会長感謝団体

茨城県立水戸桜ノ牧高等学校常北校

平成29年度 城里町花いっぱい運動コンクール入賞団体

◆地域の部

最優秀賞 磯野そよ風ガーデニングクラブ

優秀賞 下古内二区、上坪長寿会、上坪フラワーボランティアの会

◆学校の部

最優秀賞 石塚小学校

優秀賞 沢山小学校、七会小学校



おのづから

「切り絵で城里町発信」

小田部 邦子さん(下阿野沢)

今回の取材は「切り絵」の創作に長年取り組んでいる、下阿野沢の小田部邦子さんを訪問しました。

小田部さんと「切り絵」との出会い、15年程前の桂公民館での「切り絵」教室からです。その後水戸まで通い、現在は日立市民会館の講習会に参加しています。

「切り絵」制作の手順は、まず撮影した写真を基に、新たに下絵を作ります。これを黒紙の上に張り付け、下絵の線を残し専用カッターナイフで、切り取って行きます。このため被写体の



「切り絵」創作中の小田部さん

構図の良い写真から、いかに下絵を描くか、によって「切り絵」の仕上がりは決まってしまうとのこと。

下絵には人物、鳥や昆虫、木々のそよぎ、光と影などを取り込み、より表現力のある構図としていきます。

この過程が「切り絵」を、楽しく創作させるところでもある、と話されていました。

一枚の「切り絵」を完成させるには、4ヵ月から6ヵ月を要します。このため出展した作品の入選の知らせが届いた時には、嬉しくて涙が出てしまうそうです。

最近の小田部さんの活躍は「全国切り絵コンクール」「全国切り絵大河(画)コンクール」に出展し、10年間で8回の入選を果たし、昨年はめでたく講師に認定されました。今後もコンクールに挑戦し、入選することが目標であると、意気込みを

語っていただきました。

この目的は「切り絵」技術向上のみならず、入選した作品は、展示会場である群馬県(利根郡)にある日本切



昨年入選した作品「未来へ向かって」

り絵百景館に、約2ヵ月間展示されることから、これによって城里町の名前を全国に広めることです。このため作品は、城里町を撮った写真を基にして創作したい、と話しておりました。小田部さんは大変面白い方で、笑いの絶えない取材でした。なお、ホールの湯レストランには、作品が展示されていますのでご覧ください。

つくしの四季 ④

今回で8回目を数える「錫高野区いも煮会とカカシ祭り」に、つくし作業所としては4回目の参加でした。

出品作品を決める際には、通所者たちに「今年を象徴するもの」などを聞いて意見を出し合い、その中から相応しいものを選びます。

「大関高安関」、「清宮幸太郎さん」などの意見もあがりましたが、宿泊研修旅行で訪れた上野動物園で産まれたパンダの「シャンシャン」に決まりました。通所者たちは白、黒のテープを巧みに使い、上手に作品が



会場の様子

仕上がりによっていきます。前回の反省をふまえ、防水対策も万全です。そして、作業開始から1週間ほどで見事に完成しました。



パンダのシャンシャンと

昨年11月18日(土)に開かれた式典、催しには町内外から大勢のお客さんが訪れ、錫高野地区の方々が準備してくださったけんちんうどん、お餅、焼きそばなどが振る舞われ、盛大なお祭りになりました。通所者の家族も参加し、楽しい時間を過ごさせていただきました。出品したパンダのシャンシャンも楽しそうに微笑んでいるように見えました。カカシ祭りの会場で募金活動が行われ、集まった募金は社会福祉協議会へ寄付されました。

シルバリーハビリ体操普及講習会

最期まで人間らしい生き方を！

講師 大田 仁史 先生

超高齢社会の進展の中で「介護予防」が重要な課題となっています。そこで茨城県老人クラブ連合会・城里町高齢者クラブ連合会の主催により、介護予防のための体操の考案者である大田仁史先生(茨城県健康プラザ管理者)に来ていただき、昨年11月15日(水)、シルバリーハビリ体操(以下シルリハ)の普及講習会を、コミュニティセンター・城里で開催しました。



講演する大田先生

主催者の挨拶に続いて、来賓として城里町上遠野町長は「私もサロンに出て、シルリハを行っています。」



ロボットの「たいぞう君」と一緒に

皆さんよりも若いですが、少々疲れます。女性が多いようですが、是非男性も参加して下さい」と挨拶されました。

事業説明の後、大田先生の講習会に移りました。

「高齢者の虚弱化を遅らせる、そして介護期間の短縮化を図ることが大事です。その為に自助、互助、シルリハで、一日でも長く、高齢者が元気に生きられることが大切です。障害を負っても、年を取っても、最期まで人間らしい生き方をします。超高齢社会は、住民自

らが学び、力をつけ自らが社会に役立つ行動をおこす事が大切です」と話されました。

実技の部では、ロボットの「たいぞう君」の号令に合わせて、腸腰筋強化のための運動などをしました。続いて大田先生とシルリハ1級指導士6名によるひざ痛予防、肩こり防止などの体操を会場の皆さんと共にしました。



大田先生と実技を

終了後、参加者からは「分かりやすく、ユーモアに溢れとても良かった」「先生がお元気なので、私もまだまだ頑張ろうと思いました」などの声がありました。

福祉向上を目指し

「ホロルのたまごで共同募金活動」

昨年11月18日(土)・19日(日)、城里町常北運動広場で「ホロルのたまご」が開催されました。

人々で賑わうこのイベントで、一生懸命赤い羽根共同募金活動をしていた、ボランティアの生徒さん・児童さん達をご存知ですか。

18日は、水戸桜ノ牧高等学校常北校の武川秀伊さん(1年)仲田友輔さん(1年)大森結衣さん(2年)小滝美優さん(2年)の4人が、早朝よりゴリラやネコの着ぐるみを着たり、風船を配ったりして、募金を呼びかけていました。募金活動協力の依頼書を見て参加したという4人は、少しはにかみながら「やっていた楽しい」と1日頑張っていました。

常北校は毎年、この募金活動に協力しており、活動を通して地域福祉の向上に多大なる貢献をした功労が認められ、今年度茨城県共同募金会会長より感謝状が授与されました。

19日は、常北地区・桂地区・七会地区の子供ヘルパー小学生16人が、1日募金活動に参加してくれました。



ぬいぐるみで募金活動

水戸桜ノ牧高等学校 常北校の皆さん

ファミリーサポートセンター

講習会開催

昨年11月8日(水)、常北保健福祉センターにおいて、ファミリーサポートセンター協力会員の講習会「調理実習子どもの元気ごはん」を実施し、現代の子供達の栄養と発育について勉強しました。

メニューは「れんこんスープ」「簡単おやき」「小松菜のケーキ」でした。とても簡単で栄養豊富、しかも野菜が入っていても食べやすいメニューでした。

「れんこんをこんな風にスープに出来るのね!」「簡単おやきは卵かけご飯を焼いた感じですぐ作れる!」「小松菜のケーキは綺麗な緑色になるのね!」などたくさん

の声が出ました。協力会員の方々も、日頃あまり作らないメニューに新しい発見をし、とても有意義な講習会が開催できました。

今後も、利用会員の方々

が安心して利用できるように、様々なカリキュラムを勉強していく予定です。



調理実習の様子

ファミリーサポートセンターでは、利用する方々を募集しています。

「仕事の遅番の日はどうしよう」「定期検診の間、預かってほしい」「産後なかなか動けない」など保育に困った際に、子供の預かりをいたします。お気軽にご相談ください。



～ファミリーサポートセンターとは～

子育ての手助けをしてほしい方(利用会員)と、子育ての支援をしたい方(協力会員)が登録し、お互いに助け合う会員組織です。(有料)

利用会員の条件は、概ね1歳から12歳(小学6年生)までのお子さんがいる方(城里町在住)です。また、協力会員は援助活動に理解と熱意を持った18歳以上(学生を除く)の方で、センターが実施する援助活動に関する講習会を受講した方です。(保育士、看護師などの有資格者等は、この限りではありません。)

【問い合わせ先】

城里町ファミリーサポートセンター (城里町社会福祉協議会内)

☎029-288-7013 (担当: 鷹野、広木)



～育児用品助成券(すこやか赤ちゃん券)を交付します～

赤ちゃんがお生まれになったご家庭に、育児用品の購入助成券(すこやか赤ちゃん券)を交付いたします。助成券は子育てに必要な育児用品の購入にご利用いただけます。ただし、**お子様1人に対し3歳までに1度**の申請となります。利用できる店舗は、町内の城里町社会福祉協議会と契約している店舗に限られます。(詳細は社協まで)

○**交付対象者** 城里町にお住まいで、平成27年4月1日以降にお生まれになった3歳未満のお子様を養育している方

○**助成方法** 子ども1人に対し1万円分のチケットを社協にて交付

○**申請方法** ①社協窓口にて申請書を記入のうえ提出

②該当となる家庭に決定通知書を交付

③助成券を社協窓口で発行

○**申請に必要なもの** 母子手帳・住民票・印鑑



国道123号線にあるバス停「那珂西」の交差点を西に向かって行くと、旧茨城交通茨城鉄道線(通称茨鉄線)の軌道と交差する手前右側に「驛記念碑」が建立されています。周囲を鉄柵とロープ柵に囲まれ、高さは3m程。碑と柵のあいだは下木が植えられており、きれいに整備されています。

記念碑には、茨鉄線が大正13年8月に起工、大正15年10月に開通し式典を行ったと記されています。その記念として当時の篤志家や有志、町長、議員などの寄付によりこの碑が建立されたとのこと。

しろさと
駅
記念碑

手話を学ぶ

②1 指文字で50音を表す

明けてましておめでとうございます。今回は、手話の他に指文字で、50音を表す方法を学びたいと思います。

【あ行】

あ

自分から見た形



相手から見た形



い

自分から見た形



相手から見た形



【か行】

か

自分から見た形



相手から見た形



き

自分から見た形



相手から見た形



う

自分から見た形



相手から見た形



え

自分から見た形



相手から見た形



お

自分から見た形



相手から見た形



く

自分から見た形



相手から見た形



け

自分から見た形



相手から見た形



こ

自分から見た形



相手から見た形



「相変わらず」

両手の手のひらを手前に向ける。



両手を2〜3回閉じながら、前方に出していく。



「あいさつ」

両手の人差し指を立てて向かい合わせ、同時に折り曲げる。



「相性」

上向きにした左手の人差し指の先に、右手の人差し指を軽くあてる。



(すぐに使える手話辞典 6000 より引用)



2つの四字熟語が文字の順番を変えことなくミックスされています。2つの四字熟語を平仮名と漢字で書いてください。

(例題) せじゅんざうおいいうむちじぐうん → 千載一遇・縦横無尽

① おいんこっちしんどしうんたい →

② しふつみぎんおふうきゅうとう →

③ まんむじよりなういんっだいち →

④ ひよさうんかんりいしったおいん →

⑤ じしゅもんじびいとつかんう →

答えは8ページにあります。(シニアレク会館サイトより)

わが町のさわやか元気さん ④5

松崎 作三さん 87歳 井
春江さん 84歳 増

お二人は、大きな家に二人住まい。娘さん家族はつくば市に住んでいます。

作三さんはかつて区長や民生委員を務めました。春江さんは保護司のお手伝いの活動をしてきました。面倒見のよいお二人で、作三さんには、今も高校時代の友人が訪ねてくるそうです。

川井 昭さん 88歳 下古内
はまさん 82歳

「さあどうぞ」明るい声ではまさんが笑顔で迎えてくれました。手早く座布団を並べる動作は軽やか、とても82歳とは思えない立ち振る舞いです。20年近くフラダンスをやり、現在はグラウンドゴルフや、シルバリアハビリ体操をしています。1kmほどある会場までは自転車で行けるそうです。昭さんは、大正時代から続く製麺所の4代目、十数



年前まで営業していたそうです。また、当時精米所も行い、忙しい時は二人で夜の明けけるのも気づかず、仕

6年前の腰の手術以来、散歩を日課としている作三さんは、散歩途中で会った人と暗くなるまで話し込み、家で待つ春江さんを心配させたこともありました。少し前までは海外へ旅行もされましたが、今はお二人で那須や塩原などを旅行されます。その際には、作三さんは好きなカメラを常に携帯しています。撮った作品は町の文化祭などに展示されています。

現在、お二人は結婚して59年ですが、フラインダーを通して、来年のダイヤモンド婚がどのように写るか、楽しみです。



事をしたそうです。30kgの米袋をいくつも持ち上げるため、腰を痛めてしまったとのこと。昨年は運転免許も無事更新し、「あと3年は乗れますね」と元気です。一昨年、肺がん入院しましたが5日で退院、現在まで病気知らずで過ごしています。自慢はすべて自分の歯であること。毎晩、コップ一杯の焼酎をお湯割りで飲むことが楽しみだそうです。お二人揃って、益々お元気で過ごされますように。

城里町

シルバー人材センター

会員募集

城里町シルバー人材センターでは現在会員を募集しております。今まで培った技術を活かし、社会参加を試みませんか。

【応募要件】

- ① 城里町在住の方
- ② 60歳以上の方
- ③ 心身共に健康な方

【入会に必要なもの】

- ① 申込書
 - ② 就業内容承諾書
 - ③ 保険内容承諾書
 - ④ 年会費 1000円
 - ⑤ 証明写真2枚
- ※申込書、就業内容承諾書、保険内容承諾書はシルバー人材センター窓口(社会福祉協議会内)にあります。

【問い合わせ】

城里町シルバー人材センター
029-288-7013

目次

- 表紙……………1
- 新年のごあいさつ……………2
- 戌年の豆知識……………3
- 社会福祉大会……………3
- きらっと生きる……………4
- つくしの四季④⑤……………5
- シルバーハビリ体操普及講習会……………5
- ホルルのたまごで共同募金活動……………5
- ファミリーサポートセンター講習会開催……………6
- 育児用品助成券(すこやか赤ちゃん券)を交付します……………6
- しろさと⑤……………7
- 手話を学ぶ②……………7
- 脳トレ……………7
- わが町のさわやか元気さん④⑤……………8
- シルバー人材センター会員募集……………8
- 目次・編集後記……………8

編集後記

「新しい年号は『平成』であります」と当時の小淵官房長官が発表してから早や30年。しばらくは「ヘイセイ」ということばに違和感がありました。今は愛着すら覚えます。その年号がやがて変わろうとしています。

「かざぐるま」も新しい年を迎えました。旧年中のご愛読を感謝申し上げますとともに、本年もどうぞよろしくお願い致します。